

# 【特許調査の実践】

## 特許データベースを使って特許調査を試してみる

### NRIパテントサイバーパテントデスクで、実際の特許調査に挑戦

#### 第1章 調査目的による、特許検索

1. はじめに
2. 発明創出・テーマ探索のための調査
3. 特許出願時の調査（先行技術調査）
4. 開発・実用化段階における特許調査
5. 事業展開・応用分野拡大に伴う調査
6. 競合他社の開発動向調査
7. 新技術の動向調査
8. 特許戦略のための遡及調査と継続調査（SDI とウォッチング）

#### 第2章 検索項目による、特許検索

1. 検索項目の種類
2. キーワード検索
3. 国際特許分類（IPC）による検索＜IPCとは何か＞
4. FI 記号、識別記号・広域ファセット記号による検索  
＜FI・識別記号とは何か＞
5. Fタームによる検索＜Fタームとは何か＞
6. 検索項目間の組み合わせ
7. 出願人、発明者による検索
8. ヒット件数の絞り方
9. 概念検索の使い方

#### 第3章 特許検索の実際(事例)

1. 効率の良い検索(標準検索フロー)
2. 侵害予防調査
3. 技術用語の使い方（同義語の活用）
4. IPC・FI 記号・ファセット記号とキーワードの組合せ

5. 応用分野を特定する検索（IPC・FI記号の活用）
6. 環境保全技術に関連する検索
7. 化学物質関連(医薬品、農薬など) 調査
8. アミノ酸配列関連特許の調査
9. 概念検索の使い方

#### **第4章 検索結果の整理と加工**

1. 予備検索の検証と検索結果の整理
2. 特許内容（要旨）リストの作成
3. 検索結果をデータベースにする
4. 権利関係を明確にする

#### **第5章 検索チャート**

1. 検索チャートの説明